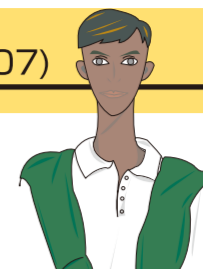


先輩からの就職情報ほっと便

SAKURA International Recruiting News

No.3 (July 25, 2007)



どんなユニークな
デザインでも
図面1枚を頼りに
展示ブースを
建てるのが
僕達の仕事だ。

世界の見本市会場が
僕達の仕事場です。

●「UAE・日本ビジネスフォーラム 2007」のアブダビ・ブース造作中のサクラスタッフ

僕達は人が集まるイベント会場を造るのが仕事だ。15トントラック20台、ディスプレイ資材50万点 300トンの資材を会場に搬入して20万人が来場する展示会場を24時間で造ってしまう。全スタッフ数延べ1,000名を超える時がある。いつもその先頭にたっているのは僕達だ。来場者を誘導するサイン看板、大きなものになると高さ10m左右20mを越すのも珍しくない。来場者を迎える入口アーチ、来場者登録や会場案内を行うレセプションカウンター、出展社の展示ブース、イベントステージ、仕事範囲は実に広い。サクラの仕事は国内だけにとどまらず海外の仕事も多い。ドイツ、スペイン、イタリア、フランス、UAE、シンガポール、インド、中国、韓国、台湾など世界の展示会場が相手というわけ。僕達のエネルギー源は、お互いの競争心と現場で助け合うチームワーク力だ。基本はものづくりが好きってことかな。

中西君 (入社3ヶ月)



戸川君 (入社3ヶ月)



先輩達と
一緒に現場で
ガンバってます



●社名ボードの建て込み



●ブースのシンボルタワーの建て込み

私たちの仕事です

展示会、イベントの企画・運営、施工・管理の専門会社です。
展示会の企画・デザイン・設営・資材生産まで自社一貫体制で、
日本の展示会から、海外の見本市までサポートをしています。



■大阪本社
〒545-0022 大阪市阿倍野区播磨町1-22-11
Tel: 06-6624-3601 Fax: 06-6624-3602

■東京本部
〒135-0046 東京都江東区社丹1-15-5 POINT STビル 9階
Tel: 03-5646-1160 Fax: 03-5646-1161

●Web site: <http://www.sakurain.co.jp>

■東京第1スタジオ
〒136-0074 東京都江東区東砂2-1-14
Tel: 03-5690-3976 Fax: 03-5690-3977

■東京第2スタジオ
〒136-0082 東京都江東区新木場1-8-6

■奈良工場
〒633-2422 奈良県吉野郡東吉野村鷺家1054
Tel: 0746-42-1097 Fax: 0746-42-1096

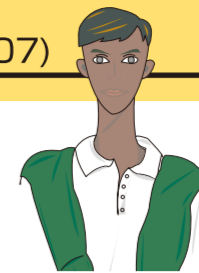
●E-mail: info@sakurain.co.jp

●求人のお問い合わせは 大阪 06-6624-3601 松井 東京 03-5646-1160 折原まで

先輩からの就職情報ほっと便

SAKURA International Recruiting News

No.3 (July 25, 2007)



「プラテック大阪2007」が6月6日～9日大阪南港の展示会場インテックス大阪で開催された。同展示会は日本プラスチック機械工業会の主催で3年に一度開催され、出展社数180社、展示小間数500小間にも上る、西日本最大の総合プラスチックの展示会だ。当社は主催者から、外装、誘導サイン、受付カウンター、展示会場の設営を含む基礎装飾を委託された。設営現場の総指揮を取った社歴4年6ヶ月で副工場長に抜擢された今阪真司さんに「プラテック大阪2007」の設営の準備から施工までの様子をお聞きました。



今阪 真司 24歳
入社歴5年
奈良工場・副工場長
奈良県立大宇陀高校卒

プラテックスの出荷は若いエネルギーが支えました。

この時期、東京・大阪・名古屋それぞれ3～4の現場が重なりすごく大変でした。「プラテック大阪2007」以外にもET-WEST、リクナビ、ファッショングッズ、アイデムの現場、ディスプレイ資材の同日出荷もあって、奈良工場は戦場そのもの。忙しいからといって出荷ミスや現場への搬入の遅れは許されません。最終的にお客様に迷惑をかけることになりません。500小間の基礎ブースの設営準備と出展社の独自展示ブースの設営も14社から受注していました。



■会場入り口アーチ

設営内容も違うため1社ごとの物件内容を把握し施工段取りを決めていく。苦労しましたがこれをしっかりやっておかないと後で現場が大変。ミスを防ぐためトラック積込時に部材を展示ホール別に分けて積み込みました。戦場のような現場を支えてくれたのは、何とか間に合おうというスタッフの一体感と若いスタッフのエネルギーでしたね。黙々と作業を続ける彼らに普段では見られないたくましさを感じました。と若い今阪君。



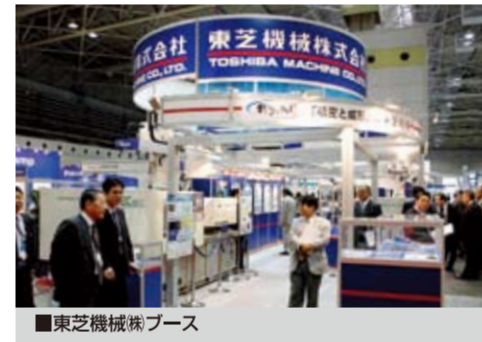
■会場大型看板



■受付カウンター

施工は事前の計画で決まるここが力の入れどころ、踏ん張りどころ

会場設営の成功・不成功は、搬入・荷降ろしから線引き、施工段取り、人員配置、タイムスケジュールなど、事前計画がしっかり立てることで決まってしまう。同時に、計画通りに現場を動かし、また、不足の事態に臨機応変にどのように対応できるかがポイントとなります。



■東芝機械ブース

会場の線引作業後、スタッフひとり一人の役割・段取りの確認のために、施工の打ち合わせを行い、仕事はチームごとに担当の仕事を行います。基礎工事は、時間配分を考えながら現場全体を把握し、人の配置や作業進行に合わせて作業指示をおこないます。一歩先の作業を常に頭に入れて現場コントロールを行います。特装工事は、展示ブースへの機械や製品搬入時間を考えながら、施工順番を決めた施工を前もって計画して施工作業にかかります。組み立てばかりではなく、お客様の搬入が始まる前にお客様の対応に備え、

ブースの手直しや希望に沿えるように部材を整理しどのような対応が可能かを考えておくことも大切なことです。

僕たちにとっては、たくさんあるうちの1社ですが、お客さんにとっては大事な一回の出展です。お客さんの立場に立った設営や対応を心がけています。せっかく仕事をするからにはお客さんに喜んでもらいたいですからね。同時にそれは自分を信頼してもらえること、サクラファンをつくることに繋がっていきます。「私」を指定してブースの建て込みをいただくことも多く、中には1物件で500万円にも達したこともあります。



■クボタカートロニックブース

1枚の図面からモノづくりの感動が生まれる

デザイナーが引いた図面から展示ブースを立てるのが僕達の仕事です。今までガランと何もなかった展示会場に僕達が立てた展示ブースが立ち並び、会場オープンと同時に世界の企業を相手にそこでビジネスがやり取りされる。世界の国と国、世界の企業と企業、人・モノ・情報が行き交う。何度オープンに立ち会ってもその都度「僕達が作った」という感動が腹のそこから湧いてきます。特にお客様から「今度のブースは良かった、ありがとう」と感謝の声をかけられたときは感無量ですね。これは現場に立たないと実感できないと思うなー。でもその裏側には、資材のメンテナンスを手を抜かず常にお客様にいい状態で提供する地道な努力の積み重ねがあるということも忘れてはならない。と大きな仕事成し遂げた自信みなぎる笑顔と、チョッピリ厳しい副工場長の顔で今阪さんは答えてくれました。



Ecology with Economy

地球にやさしい芽を育てています。

太陽光発電で工場で使用電力をまかなっています。

地球温暖化防止のための取り組みとして、奈良の第3工場のルーフにシャープ製のソーラーパネル100㎡を設置し、地球温暖化ガス二酸化炭素を排出しないクリーンエネルギーとして1.2kW/hの電力を工場に供給しています。



●奈良第3工場ルーフのソーラーパネル

ます。サクラの地球環境保護の取り組み姿勢が、シャープ広報誌にも取り上げられました。そのほか、屋上緑化による都市のヒートアイランド現象の歯止めへの取り組み、ハイブリット車の導入、駐車場でアイドリング禁止など、私たちにできる地球にやさしい芽を社員一丸となって育てています。



●屋上緑化された大阪本社屋上で憩う当社社員

東京本部、大阪本社、奈良工場 東砂スタジオ 4箇所を電話回線で結んだTV会議

全社の力を総動員して取り組む展示会の施工準備会議や、物件ごとの営業との打ち合わせなどに大阪本社、東京本部と回線を繋いでTV会議で打ち合わせを行っています。

TV会議の利点は、奈良工場にいなから東京や大阪のスタッフといつでも会議がもてるため、ひんぱんにコミュニケーションを図ることができて、意思の疎通によるミスや事故を少なくできることです。そして何よりも会議の出席のための移動に時間を取られることがなくなり、その時間展示会準備に専念できるので助かります。それと、話相手の顔を見ながら意見交換できる点がいいですね。相手の意気込みが画像を通して感じられ、つつい受け手も熱くなります。